

2) 活用方策・機能の検討

2) - 1 地域活性化に必要な機能の整理及び利活用方策の検討

周辺状況の把握結果およびアンケート結果を踏まえ、芦屋港に求められる機能を整理し、芦屋町並びに芦屋港周辺地域の活性化を図るための利活用方策について検討を行った。

●芦屋港に求められる機能

- ①特産物直売所、飲食店の新設（地元特産物販売等）
- ②釣りスペースの新設（釣堀、釣り桟橋、渡船等）
- ③BBQや花火を実施可能な公園・緑地帯の設置
- ④海上周遊交通手段（渡船、緊急輸送船等就航）
- ⑤陸上周遊交通手段（レンタサイクル等）
- ⑥観光案内機能（周辺案内）
- ⑦イベント広場の常設（釣り大会等）
- ⑧駐車場（芦屋港周辺来訪者用）
- ⑨プレジャーボート係留及び管理施設の新設

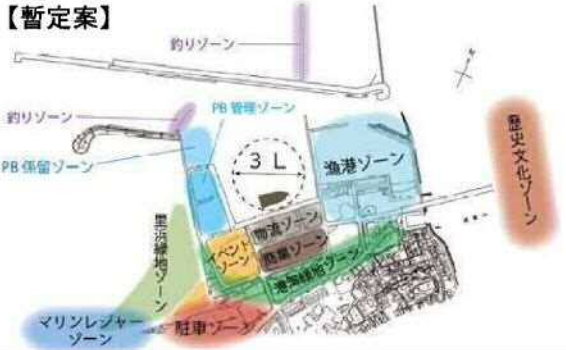

| 【暫定案】 | 【将来案】 |
|--|---|
|  <p>・物流機能あり(4号A岸壁図) ・海上周遊ゾーンなし ・PBは135隻程度受け入れ可能(約54mの波除堤を設置) 【利点】 ①将来案に向けた第一ステップとして、早期事業化が可能 【課題】 ①物流使用時の船舶・運搬車との錯綜による安全対策</p> |  <p>・物流機能なし ・海上周遊ゾーンあり(緊急輸送船利用可能) ・PBは250隻程度(受け入れ可能(約80mの波除堤設置)) 【利点】 ①レジャー港として全体活用 ②既存の施設を用いた海上周遊が可能(遊覧、渡船等) 【課題】 ①物流業者が事業を行っている</p> |
| <p>【共通の利点】 ①直販所設置により収入が見込める ④BBQの利用が可能及び収入が見込める ②釣りの利用及び収入が見込める ⑤PB利用収入あり ③観光案内所設置により既存施設への案内が可能(釜の里、歴史資料館等)</p> | |
| <p>【共通の課題】 ①交通渋滞発生の懸念 ②各施設の整備及び管理運営 ③PB利用者と漁船の錯綜</p> | |

図 3 芦屋港の利活用案

当面の案として、物流機能を残しつつ、十分に活用されていない野積場等を有効活用し、芦屋町並びに芦屋港周辺地域の活性化に資する機能を配した利活用案（暫定案）を作成した。また、将来案は代替港等が見つかり、物流機能がなくなった場合を想定した利活用案となっている。

2) - 2 委員会の開催・運営

①委員会の開催

芦屋港に求められる機能および利活用案に対し意見をいただくため、地元漁業組合、商工会など地元関係者に加え、学識経験者、福岡県、芦屋町等で構成された芦屋港活性化検討委員会を組織し、芦屋町並びに芦屋港周辺地域の活性化にむけた委員会を開催した。

表 1 芦屋港活性化検討委員会の開催概要

| | 日時／場所 | 協議項目 |
|-------|--|---|
| 第 1 回 | 平成 28 年 2 月 2 日 19:00～21:00 芦屋町役場 | ①芦屋港の現状と課題、②アンケート調査結果報告、③芦屋港及び周辺での活動状況について、④先進事例調査報告、⑤芦屋港に必要な機能 |
| 第 2 回 | 平成 28 年 2 月 22 日 18:30～20:30 芦屋町役場 | ①第 1 回議事概要及び対応方針、②PB 利用安全対策事例、③芦屋港周辺施設の現状及び移動手段、④芦屋港活性化の為に施設配置（案）の具体的提示 |
| 第 3 回 | 平成 28 年 3 月 29 日 18:30～20:30 芦屋町役場 | ①第 2 回議事概要及び対応方針、②脇田フィッシャリーナ（北九州市）の紹介、③施設のレイアウト・概要（VR）の提案 |



写真 第 1 回検討委員会（左）、第 2 回検討委員会（中央）、第 3 回検討委員会（右）

②芦屋港周辺 VR の作成

芦屋港の将来像を視覚的に共有するため、芦屋港周辺の整備前後の VR データを作成した。整備前後のイメージをしやすいように、走行アニメーション（歩行者目線、ドライバー目線）も作成した。



図 4 芦屋港周辺 VR（将来案）の抜粋例

以上の検討を踏まえ、芦屋港周辺における将来像のパース図を作成した。

【将来案】



※アンケート調査や委員会での検討の結果を踏まえて作成したイメージ図。各施設の事業主体、維持管理は今後の検討課題である。

図 5 芦屋港の将来像